

心のつながり

笠松中二年五組 岩崎裕介

僕がまずグアムに降り立った瞬間驚いたのは、車が走っている道が日本とは逆ということでした。また、グアムの海は日本とは比べものにならないくらいに透き通っていてきれいでした。その海で夜、ディナークルーズをしました。熱帯魚のエンゼルフィッシュに似た魚がいて、環境がいいなあと思いました。

二日目のイナラハン村では、海水をそのまま塩にしたり、木をはいで縄や帽子やコースターを作ったりしました。イナラハンの人たちは、身近にある物からいろんな物を作り出している創造性のある人たちだなあと思いました。

三日目はイナラハン中学校に



空手の型をみんなで見学

行きました。バスを降りると、パートナーのエディくんが待っていました。イナラハンのみんなは陽気で活気がありました。そして、とうとう空手を見せる時がきました。異国の地で見せるのは初めてなので、心臓が破裂しそうでした。緊張しながらもいくつかの空手の型をやってみせると、イナラハンのみんなや校長先生も一緒にやってくれてうれしかったです。

このグアム研修で学んだことは、「心」です。心がつながっていないと会話もできないし、お互いに表現もしにくいです。心の大切さを学び、外国交流がもっと好きになりました。このグアム研修は僕の一生の思い出となりました。

グアムで学んだ文化の違い

笠松中二年三組 石神敬文

僕がこのグアム研修で一番心に残ったことは、イナラハン中学校との交流です。僕は全校生徒の前で、笠松町の人口、トンボ池、お奴などについて英語で説明しました。思ったよりも生徒の数が多くて緊張したけど、なんとか説明できて、みんなも拍手をしてくれてうれしかったです。その後は教室で書道を教えました。「山」「花」など漢字



書道にみんな興味津々

を書いて読み方や意味を教え、みんなとても興味を持って、自分の名前を書くなど楽しんでくれたので良かったです。バスケットボールやバレーボールもしました。国や学校の違いは関係なく、みんなで協力してバスを回したり、シュートが入ったときはみんなで喜び合えて、全員で楽しくできました。

イナラハン中学校との交流で特に強く感じたことは、文化の違いです。グアムでは歓迎の印として貝殻で作ったネックレスをプレゼントする習慣があるし、人々はみんな明るくとてもダンスが好きで、イナラハン中学校の生徒も伝統的なダンスを見せてくれました。男子は力強く、女子はきれいに踊っていて、お奴とはまた違う良さがありました。

この研修で僕はグアムの文化を学び、日本の文化を教え、みんなと仲良くなれたことがとてもうれしかったです。

もうれしかったです。

現地の人とのふれあい

笠松中二年五組 田中まゆ子

グアムの研修は家族旅行では体験できない「現地の人とのふれあい」を求めて参加しました。

一日目は空港で迎えてもらい、これからどんな体験ができるのだろうと楽しみました。

二日目はチャモロの人々の生活について学びました。「コナツツの葉編みやロープ作り、民家の見学など、この自然の中で育まれてきた知恵と文化を感じました。タツ工農園では、台風で被害を受けた後なのに、私たちのためにたくさんのお菓子を用意してもらいました。初めて挑戦する果物もあって、興味深いものがたくさんありました。

三日目はイナラハン中学校との交流でした。この体験はいちばん楽しみにしていたものですが、英語が通じるかなど不安や緊張もありました。でも中学校に着くととても温かく歓迎してくれ、すこ

うれしかったです。廊下を歩いていて気づいたことは、上級生、下級生、男女に関係なく仲の良いことです。こういう姿が笠松中学校でも見られるといいと思います。中には握手をしてきて名前を覚えてくれる子もいて楽しかったです。英語もある程度は理解して話せたのですが、うまく伝えられなかったり、聞き取れなかったりしたので、もっとがんばりたいと思います。

この研修ではたくさんのおもしろい経験ができたので、これからの生活に活かしていきたいです。



「あやとり」でコミュニケーションを図りました